

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

あべともこニュース

全力をあげて、戦争の回避を！

◆「自衛」は常に戦争の言い訳

米国が大統領の指示でイランのソレイマニ司令官を殺害し、報復の連鎖への懸念が高まっています。

グレテス国連事務総長は、「新たな湾岸戦争に対応する余裕は今の世界にはない」と3日に呼びかけ、独仏英首脳は6日に「イラクにおける暴力のサイクルは終わらなければならぬ」と共同声明を発表しました。

米国による殺害理由は、米国外交官などの殺害計画があったから「自衛」だというものでしたが、戦争は常に「自衛」を理由に始まります。

今、日本がすべきことは、自衛隊の中東派遣の中止。そして、武力に依存した前世紀型の中東政策を米国に止めさせ、多国間のイラン核合意に立ち戻るよう説得することです。

世界中の人々が「恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利」を謳った憲法を持つ国なのですから。

◆生活圏へのカジノ整備、8割が反対

3年前、衆院内閣府委員長としてカジノ法案を強行採決させた秋元司衆議院議員が収賄容疑で逮捕されました。カネを受け取った議員は複数おり、誰もが「カジノ利権」の存在に気づかれました。

6日に各紙で報道された世論調査（12月上旬実施）結果は、こうした事態の発覚前でも、市民の懸念が大きいことが分かれます。

IR整備に反対は64.4%。それが「あなたの生活圏」にIRが整備されることには「反対」が77.4%。「賛成」であっても自分の住む町にできることに39%が反対なのです。

秋元議員はIR担当副大臣としてIR整備法の制定過程に関与しました。つまり、刑法で禁じた賭博を解禁したこの法律に正当性あったのかという疑義が生じているのです。一体、誰のためのカジノ整備なのか、カネで政策が歪められたのではないか、根本から議論が必要です。



1月7日開催の「カジノ問題追及本部ヒアリング」で、「カジノ推進本部はこの事態をどう受け止めているのか」と、内閣府に質問する阿部とも子。

◆ダムに「頼れない」時代に合う治水を

気候変動による豪雨被害が例年続く今になっても、国土交通省は旧態依然のダム頼りの治水を止めません。来年度も37のダム建設を進め、27の古いダムの再生事業予算を確保。一方で想定外の雨に備えて事前放流できるダムは4割程度。洪水に強いまちづくりや破壊的な決壊を避けるための川の浚渫など予算をシフトすべきです。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）
当選 7 回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長
現在、厚労委員会・原子力問題調査特別委員会筆頭理事



あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592